

地本業務ニュース

JR 東海労・静岡地方本部

NO.13 2021年5月1日発行者：JR東海労静岡地方本部 半場弘恭

「令和3年度要員計画」業務委員会開催 現場の社員が安心して働ける労働 環境・労働条件・要員を確保せよ!

4月26日、「令和3年度要員計画」について業務委員会を開催し、地本は会社と議論を行いました。

以下会社計画内容と主な議論です。提案内容は、別紙を参照してください。

オレンジパークの廃止は反対！存続・復活させること！

組合：年度初要員数について、昨年度比で増減を明らかにすること。

会社：駅550が540、運輸680が680、車両80が80、施設200が200、電気210が210、その他320が290、計2040が2010である。

組合：駅減の理由は何か。

会社：沼津駅における連動装置取り替え、営業体制の見直し等によるものである。

組合：その他の減の理由は何か。

会社：非現業における異動によるものである。

組合：オレンジパーキング廃止の理由を明らかにすること。

会社：今後1年間に複数の社員が専任満了を迎える。オレンジパーキングのあり方についても含め、様々な面から検討を重ねて、このタイミングで廃止することとした。

組合：このタイミングで専任社員として満了しない社員もいるのであり、廃止には反対である。

会社：そのような社員の今後の職場については、出向も含めて適性や能力に合わせて決定していく。

組合：この間の経緯からすると、本人たちが安心して働ける職場があるのかどうかたいへん疑問である。具体的にどのような職場を考えて

いるのか。

会社：調整中である。

組合：異動は7月なのか。

会社：6月中旬頃に閉めて、6月末赴任となる。

組合：2ヶ月しかないのに、考えを明らかにできないのか。

会社：2週間前までに提示する。

組合：会社はオレンジパーキングの役割をどのように考えていたのか。

会社：平成21年度に事業管理所を廃止したが、オレンジパーキングは継続することとしてきた。今後要員を確保できない見通しである。

組合：様々な事情でオレンジパーキングでなければ働けないという社員の職場として機能してきたのであり、今後も必要であると考えます。

会社：今後、体調不良の社員が出たら個別に検討していく。

組合：少数でも助勤等で対応して、存続させようという考えはないのか。

会社：そのようなことも総合的に勘案して決定したということである。

組合：駐車場として営業的にはどうであったのか。

会社：芳しくはなかった。

組合：周辺施設や利便性など考慮して復活させるべきであると考えます。

赴任先については事前に組合に説明すること。

会社：職場から本人に示していく考えである。

希望する専任社員が定着できる労働条件を構築せよ！

組合：出向計画について、昨年と同じ20となっているが、実績はどうであったのか。

会社：約20の実績であり、非現業やその他のかたである。

組合：運輸系統はいなかったのか。

会社：東海交通事業に出向（御厨駅）されたかたが1名いたが、基本的には現場現職で専任社員になっていただいている。

組合：退職者実績で73名のかたが定年退職されているが、何名が専任社員になられたのか。

会社：61名である。

組合：専任社員の方は現場での経験が豊富であり貴重な労働力である。希望する方が満了まで安心して働くことのできる労働環境・労働条件を構築すること。

余裕ある要員需給と運用を実施せよ！

組合：乗務員養成について、運転士は昨年度は40であったが30と減になっているのは、どの様な理由なのか。

会社：養成対象となる平成27年度採用者の母体が小さいことと、要員に余裕があるためである。

組合：駅異動を20から25に増やしているが、それでも余裕があると言えるのか。

会社：会社として需給状況を見ながら決定している。

コロナ感染防止対策で適性検査会場の改善を確認！

会社：経営協議会で確認を求められた適性検査会場について、お答えしたい。

組合：以前の業務委員会の中で、適性検査会場が密の状態で開催されていることについて、組合から改善を求めたものである。

会社：広い会場で開催することとした。静岡運輸区で会場をお借りしたりもしている。

組合：引き続き、対策を実施していくこと。

以上